旧板橋第四中学校跡地施設整備構想・整備計画　（素案）（概要版）

資　　料
令 和 8 年 1 1 月
政策経営部政策企画課

1 はじめに

平成18（2006）年3月末に閉校した旧板橋第四中学校の跡地活用については、周辺の老朽化した公共施設の更新にあたり、個別整備ではなく集約化による複合施設の整備を検討してきた。このたび、これまでの検討成果を踏まえ、設計条件を明確にするため、「旧板橋第四中学校施設整備構想・整備計画」を策定する。

経緯

- 平成18年3月末に閉校し、平成19年4月から板橋フレンドセンター及び富士見地域センターとして使用、平成29年度に南部公園事務所（現・南部土木サービスセンター）を移転。
- 令和元年度から令和2年度にかけて、「いたばしNo.1プラン2021」に基づいて公共施設の配置検討を進め、方針案を策定。
- 令和3年1月策定の「いたばしNo.1プラン2025」において、コロナ禍など社会環境の急激な変化を踏まえ、公共施設の新規工事着工が原則先送りとなったことから、集約・複合化にかかる方針決定は令和5年度以降とした。
- 令和6年1月策定の「いたばしNo.1プラン2025改訂版」に基づき、改めて旧板橋第四中学校の跡地活用検討に着手。
- 令和7年3月「旧板橋第四中学校跡地活用方針」を策定。
- 令和8年4月「旧板橋第四中学校跡地整備構想・整備計画（中間のまとめ）」を報告。

課題

- 空間・整備機能の最適化
- 運営時間の柔軟性
- 防災機能の両立
- 地域資源の保存

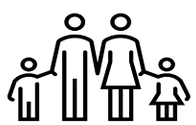
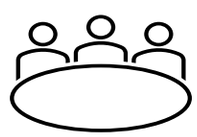
施設整備方針・理念

⑴ 基本方針

持続可能な地域のつながりと愛着をはぐくむ

ひと と まち をつなぐ　みらい創造・交流拠点

⑵ 基本理念


- ひと（個人）　居場所空間の創出

  子ども・若者・子育て世代が背景を問わず集い、自分らしく過ごせる居場所空間の創出
- まち（地域）　共創空間の構築

  「創造」を核として地域・多世代の交流を促進し、誰もがともに学び・教えあう共創空間の構築
- みらい（環境）　災害拠点の整備

  区民の生命・財産を守るため、災害時を想定してすべての人が安心・安全を実感できる災害拠点の整備

2 区民意向

内容	時期	延べ人数
住民説明会 （※旧板三小説明と同時）	令和7年5月・11月、 令和8年5月	208人
施設利用者アンケート	令和7年11月13日 ～12月12日 令和8年6月7日	192人
オープンハウス	令和8年3月15日	103人
ワークショップ	令和8年2月9日、 令和8年6月6日	65人

- 広場やグラウンド、子どもが遊べる空間を残してもらいたい。
- 地域イベントやコミュニティ活動は継続したい。
- 学習スペースや個室空間がほしい。
- 音楽活動やダンス練習ができる場所がほしい。
- 具体的なイメージを示してもらいたい。

3 施設整備コンセプト

「未来　共創　交流拠点」

～想いをつなぎ、未来をかたちに～

4 複合化する機能




●富士見地域センター　●富士見台児童館
●ボランティアセンター　●大原生涯学習センター
●富士見おとしより相談センター

＋ ●板橋フレンドセンター ＋ ●南部土木サービスセンター ＋ ●防災機能



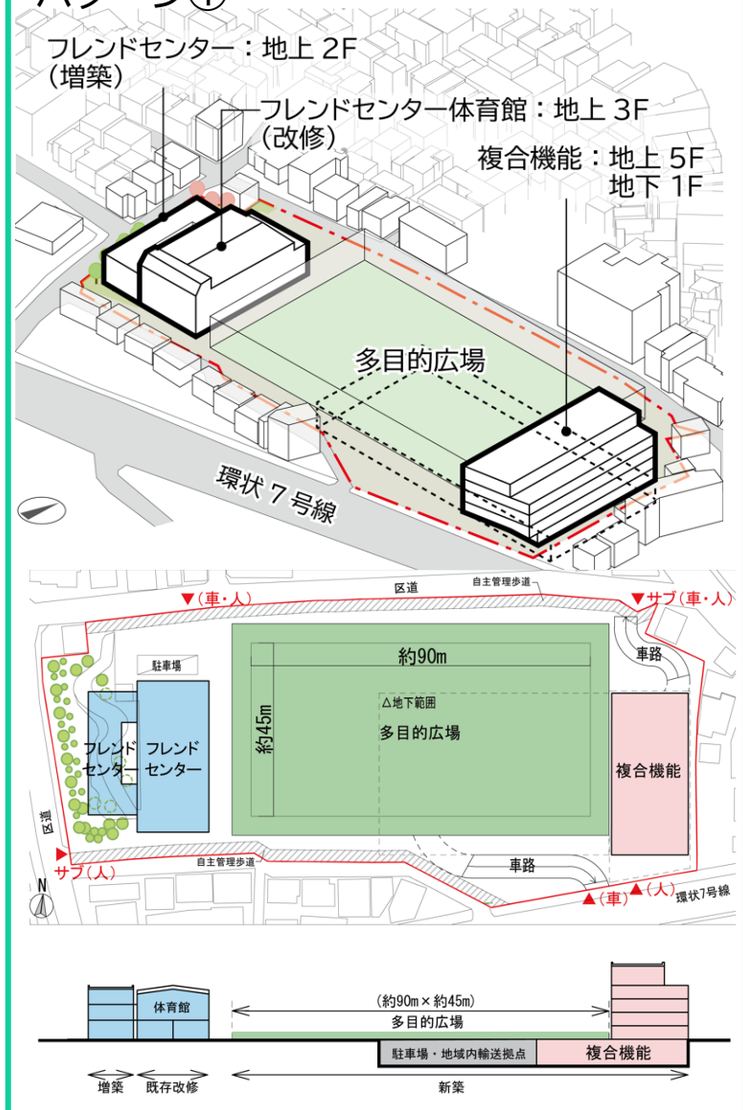

5 施設構成

機能名	諸室エリア	主な内容
交流機能	地域センター	ホール・各種貸室・事務室・倉庫等
	ボランティアセンター	NPOルーム・NPOサロン・事務室等
	児童館	遊戯室・乳幼児室・事務室等
	生涯学習センター	ホール・各種貸室・事務室等
	生涯学習センター（i-youth）	スタジオ・ユースコーナー・事務室等
	地域包括支援センター	相談コーナー・事務室等
	カフェ	カフェ
	多目的広場・付属エリア	スポーツひろば・更衣室等
	（常時）多目的利用 （非常時）地域内輸送拠点エリア	※常時は多目的に利用を想定 物資仕分けスペース・常時備蓄スペース・荷下ろしスペース等
	共用エリア	エントランスホール・ロビー・廊下・階段・EV・WC・倉庫・設備関係等
教育支援機能	板橋フレンドセンター	学習室・プレイルーム・図書室・ランチルーム・体育館・面接相談・スタッフルーム・廊下・WC等
地域行政サービス機能	南部土木サービスセンター	事務室・打合せスペース・資材置場・休憩室・廊下等

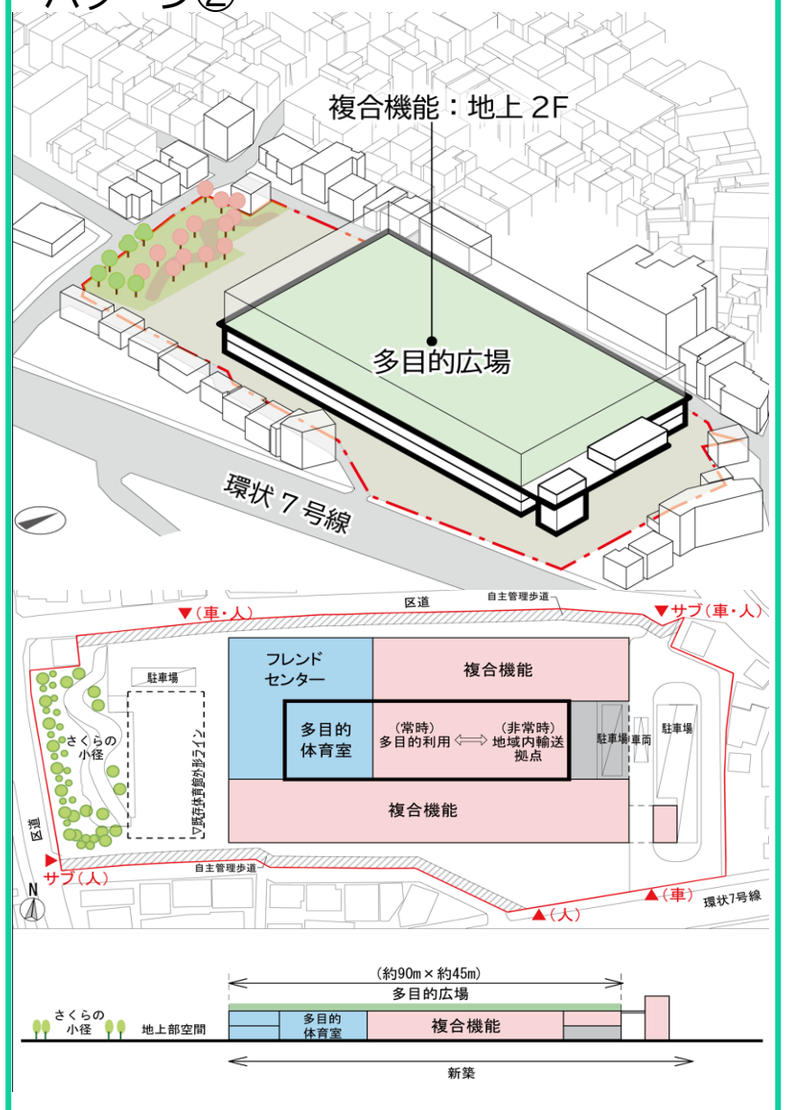
6 施設イメージ図

※現在、検討を進めているイメージ案になります。

パターン①



パターン②



7 整備期間中の移転先（予定）

〇板橋フレンドセンターは、通っている児童・生徒の通学環境に配慮し、一時的に富士見児童遊園（富士見町7－6）に仮設建物を建設し、仮移転を行います。

〇南部土木サービスセンターは、旧板橋第九小学校（栄町6－1）に仮移転をし、行政サービスの継続を行います。

機能	仮移転の方向性
富士見地域センター	移転なし（新施設完成後新施設内に移転）
板橋フレンドセンター	富士見児童遊園内仮設建築物
南部土木サービスセンター	旧板橋第九小学校
旧板橋第四中学校記念品展示室	近隣学校で検討中 （新施設内展示スペース検討中）

8 スケジュール

◆旧板橋第四中学校跡地施設整備予定

令和9年度（2027年度）	令和10年度（2028年度）	令和11年度（2029年度）
基本設計・実施設計	→	旧校舎解体工事

※板橋フレンドセンター・南部土木サービスセンターは、旧校舎解体工事前に仮移転先へ移転、富士見地域センターは、新施設完成後に移転。

◆新施設管理運営予定

令和9年度（2027年度）	令和10年度（2028年度）	令和11年度（2029年度）
管理運営計画の検討	→	運営条件の精査